

「水俣病」究明に本腰

各省課長で対策協議会

水俣市では「水俣病」の原因究明のための総合研究機関の結成を再三政府に陳情していたが、このほど政府で「水俣奇病対策連絡協議会」をつくった冒市あて厚生省から連絡があった。

同文書によればこの協議会は政府各省間の連絡を密にし水俣病原因の早期究明と今後の対策を講ずるため行政上の諸問題の協議に当り

事務関係は厚生省環境衛生部であつかうことになっている。

構成は厚生省が中心になり同省環境衛生部長ほか四課長、海上保安庁水路部気象課長、農林省漁調第二課長、文部省大学学術局大学課長、運輸省港灣局計画課長、通産省軽工業局軽工業課長ほか同省二人計十二部課長が各省から責任者になっており、地元の切なる要望に答えて政府

が総合研究機関としての「協議会」を結成したことは「水俣病」対策にいよいよ本腰を入れて来たものとみて地元では明るい希望を抱いている。市ではこの機会を逸せず五、六日ごろ県当局に積局的に動いてもらいう陳情に出掛けることになっている。